

名立区 地域協議会だより



第38号 2021年1月25日発行

発行：名立区地域協議会
編集：協議会だより編集委員
事務局：名立区総合事務所
総務・地域振興グループ
電話：025-537-2121

新しい年を迎え

会長 原田 秀樹

令和3年を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。新型コロナウイルスの発生に始まり、感染拡大対策の対応に身も心も疲弊した令和2年でした。

新しい年を迎えた今この時も感染は止まる気配を見せず、経済の落ち込みも厳しい状況となっています。新しい生活習慣を実践する毎日の中でも、様々な困難や対立が生じていることは大変悲しいことです。

困難な状況だからこそ、新型コロナウイルスと対峙している多くの方々に感謝するとともに、人に対しての優しさの大切さも忘れてはならないことだと思えてきます。心をつないで支え合うなかで、名立区の皆さんと共に一歩ずつ進んで行きたいと思えます。

本年も地域協議会をよろしくお願ひします。

功績をたたえて～塚田正前地域協議会長が上越市表彰を受けました～

11月6日に「令和2年度上越市表彰式」が行われ、各分野で功績のあった89名と3団体が表彰を受けました。その中で、名立区地域協議会の会長を長年務められた塚田正前会長が、市政功績の分野で表彰を受けました。誠にありがとうございました。



この度、私如きが市政功績という名目で表彰を拝受することと相成りました。これもひとえに、多くの方々を支えられ、温かいご指導をいただいた賜物と感謝申し上げます。

4期16年に渡り、上越市のために何ができたのか反省することしきりです。体力の続く限り、私にできることを今後も続けていく所存です。本当にありがとうございます。

令和2年度地域活動支援事業【追加募集】～3件の事業を採択しました～

私たちの地域をもっと住みよく、もっと元気にするため、地域の皆さんが行うまちづくり活動を追加募集したところ、名立区では3件の提案がありました。

名立区地域協議会では、8月20日に、提案をいただいた団体を招いてプレゼンテーション審査を実施した結果、全ての事業を採択しました。

名立区では当初募集で9件の事業を採択しているため、今回の追加募集と合わせて12件の事業が採択されました。

地域協議会では、たより等を通して、地域活動支援事業を活用した取組を地域の皆さんへお伝えしていく予定です。

※下記の採択事業は、受付順で掲載しています。

追加募集で採択した事業【採択額】	団体名	事業概要
名立太鼓 太鼓補修・購入事業 【997千円】	名立太鼓連中	劣化した太鼓の補修と新しい楽器を購入し、迫力ある演奏を通して、地域活性化と郷土愛の醸成に寄与する。
ひまわり畑階段整備（作り替え）事業 【349千円】	不動森あげ米かい	ひまわり畑の木製階段を補修し、ひまわりの育成及び管理作業や観賞者の安全を確保する。
捕獲用箱罠と関連商品購入事業 【544千円】	一般社団法人 新潟県猟友会西頸 城支部名立支会	有害鳥獣による農作物等の被害が多い名立区において、駆除を安全かつ効率的に行うための捕獲用箱罠等を購入し、地域の安全安心に寄与する。



地域活動支援事業を活用した取組を紹介します!!

～晩秋の散策会「ブナ林と炭焼窯を見に行こう」に参加して～

11月8日(日)、不動を創る会主催の現地学習会に、地域協議会から中野委員が参加しました!!



当日は、坂本弁護士慰霊碑のお参りから始まりました。

名立のブナ林を知った瞬間でした。ブナは、温帯の中でも比較的温暖な暖温帯の植物です。日本海側の豪雪地帯に生育するブナは、特異的な特徴を持っています。

その一つ目は、排他的に他の樹種を押し除け、ブナだけが生えることです。例えば、ミズナラの林を歩くと70〜120種類くらいの樹種が見られますが、ブナ林では30種類くらいのことです。

二つ目は、枝に非常に粘りがあることです。特に新潟県や山形県ではその傾向が強いとのことでした。したがって、日本海側のブナは、材木として床材、廊下などに使うに大変素晴らしいということでした。

「ブナの森の葉隠れに…」は、ニューマンの「流浪の民」の出だしです。地域みんなで素晴らしい森を育てていきたいと思います。

(中野 祐)

自主的審議事項「ろばた館の存続に向けて」～地域の皆さんと協議を行いました～

ろばた館の現状の説明と、今後の在り方を地域の皆さんと意見交換するための「行政懇談会」及び「ろばた館関係団体との協議」が、11月11日から19日までの間に行われました。計7回に渡り行われたこの会には、地域協議会委員も参加し、延べ128人の方が参加しました。(※開催の状況は下表をご覧ください。)

会は、総合事務所と施設所管課からの説明の後、参加者との意見交換を行う形で進められ、市からは、利用者数の減少や設備の老朽化に伴うメンテナンス等により支出が収入を大きく上回っている現状や、今後の施設機能の展開案などについて説明があり、これに対し参加者からは、高齢者支援の視点からろばた館の存続を望む声や収支の改善に関する事、イベント等の実施によりろばた館の利用者を増やす提案など、123件に及ぶ意見・質問がありました。

今後、地域協議会では、地域の皆さんお一人おひとりの思いを大切にしながら、いただいたご意見を整理・集約し、今後の対応を協議してまいります。

沢山のご意見、ありがとうございました。



開催日時	会場	対象者・団体	参加者数
11月11日 午前10時～	ろばた館	特産品加工グループ (4グループ)	10人
11月11日 午後2時～	ろばた館	折平芸能保存会、不動森あげ米かい	8人
11月12日 午後2時～	ろばた館	健康福祉関係7団体	11人
11月16日 午後7時～	名立地区公民館	北部地区町内会長ほか	37人
11月17日 午後7時～	円田荘	下名立地区町内会長ほか	28人
11月18日 午後7時～	公民館上名立分館	上名立地区町内会長ほか	18人
11月19日 午後7時～	不動地域生涯学習センター	不動町内会長ほか	16人

編集後記

新型コロナウイルス感染に始まり、コロナで暮れた令和2年、長いトンネルを抜け切らないうちに新しい年を迎えてしまいました。種々の会議が抑制される中、地域協議会では「ろばた館」の今後について真剣に協議を続けています。懇談会でいただいた貴重な意見に耳を傾けるとともに、施設の活用を図り、中山間地域の荒廃をこれ以上進めることのないように考えていきたいものです。

(編集委員 石井 浩順)

地域協議会を傍聴してみませんか?

地域協議会は何なたでも傍聴していただける会議ですので、お気軽に会場へお越しください。

なお、開催日時および会場は、総合事務所日より「しずく」や、市ホームページ等でご確認いただけます。

